

やまと

広報

9・11 月合併号

2014 No.235・236



ヤマヒヨドリバナに訪れるアサギマダラ (平成 26 年 11 月撮影)

# HIRATOMI FESTIVAL



大和村に  花  
ふうだなあまんぎやるず 優勝!

第23回

# ひらとみ祭り

大和村の夏のイベント「第23回ひらとみ祭り」は8月30日(土曜日)、大和港思湾地区一帯で開催されました。午前中はどんよりとした厚い雲に覆われ時折強い雨風となりましたが、午後には一転して好天に恵まれ、村内外から多くの人が来場。奄美の夏祭りの風物詩・舟漕ぎ競争や村民も大活躍のステージショー。フィナーレには夏の夜空に大輪の花火を咲かせ会場は終日歓声に包まれました。

## 直川智翁の偉業を讃える

ひらとみ祭りは、大和村思勝集落に建立されている「開饒(ひらとみ)神社」から名付けられたもので、製糖業の祖直川智(すなおかわち)翁が祀られています。祭りは、この開饒神社で製糖業の繁栄と祭りの安全祈願を主催者と糖製業関係者、また群島各地の糖業関係者より届く「豊作祈願書」と共に玉串を捧げることから始まります。



伝統の舟漕ぎ競争ではハイレベルの熱戦で盛り上がった他、ステージショーでは大和保育所の子どもたちによるダンスを皮切りにフラダンスやシマウタ、阿波踊り、地元オヤジバンドによるライブ、お楽しみ抽選会で会場を沸かせました。祭りのフィナーレは夜空を彩る花火大会。人々は過ぎゆく夏を惜しむようにテンポ良く上がる2000発の花火を楽しみました。

舟漕ぎ競争は夏祭りのメインイベントとして島内各地で開催される奄美大島の伝統競技。シーズン最後の大会となるひらとみ祭りは例年強豪チームが集い、今季最後となるハイレベルの争いが繰り広げられます。

今年は村内外から男女合わせて81チームが参加。パワフルなヨホ(権)さばきで白熱したレースが展開されました。会場ではチジンを打ちながら応援する姿が見られ、特に地元チームが出艇すると一段と大きな声援が上がりました。

大会は、エンガの部(男子の部)では「荒波會」が初優勝を飾り、メラブの部(女子の部)では「ふうだなあまんぎやるず」が5年ぶり6回目の優勝を果たし、地元の花を飾りました。

舟漕ぎ競争の結果は次のとおりです。

- エンガの部①荒波會②仲勝壮年団③手広海賊団④実組
- メラブの部①ふうだなあまんぎやるず②めぐみの園③頓原shynes④一心団体笑女隊
- 集落対抗エンガの部
  - ①湯湾釜②大榎③国直
- 集落対抗メラブの部
  - ①大和浜②思勝③津名久

わさやが興そう

わさや生まぬじん



# 手羽先で見る「骨」の仕組み

## 夏のネイチャークラフト教室

**環**境省奄美野生生物保護センターと奄美自然体験活動推進協議会では、8月4日、「手羽先を食べる骨格標本を作ろう」と題してネイチャークラフト教室を開催しました。講師は奄美動物病院の伊藤圭子氏。私たちの体を支える骨の仕組みをじっくり観察して欲しいと、今回は身近な食材「手羽先」を使って骨格標本作りに挑戦しました。

各家庭で調理した手羽先をみんなで美味しく味わった後、残った骨をよく観察。ニワトリの手羽先は人間でいう、肘から指にあたる部分だと学びました。

骨格標本を作るには、骨についての細かな肉や脂の除去に数日程度時間が必要なため、今回は予め掃除をしておいた骨を使い、一人ずつ骨格標本づくりに挑戦しました。1本、十数個の骨のパーツですが、関節同士が上手くはまるように組み立てる作業は、まるで難関

なジグソーパズルのよう。接着剤やピンセットを片手に、子どもはもとより大人も夢中になって取り組んでいました。時間をかけて出来上がった手羽先の骨格標本は、化石発掘の現場から発見された「恐竜の骨」のよう。その格好の良さに思わず見とれてしまう子どもたちでした。



# 台風被害から樹勢回復の兆し

## 2014年スモモシーズン終了

**大**和村の初夏の味覚、スモモ（奄美プラム）の2014年シーズンが終了しました。今期の集出荷は昨年（5月20日）より遅く、5月26日から6月20日まで、本村の湯湾釜選果場と奄美大島選果場（奄美市名瀬朝戸）の2カ所で行われました。

JAあまみがまとめた2014年共販実績によると、取扱量は42.8トン（前年比+25.5トン）、販売額は1千488万3千円（前年比+622万1千円）と、量、額ともに増加しました。大和村での実績も、取扱量33.2トン（前年比+21.2トン）、販売額1千157万6千円（前年比+571万5千円）と昨年の過去最低水準から2～3割増。豪雨や台風で受けた樹勢のダメージが回復してきたことが明らかとなった。しかし、気象条件等により昨年度より収穫が遅れたことで、販売時期が6月にずれたことから単価は思

うように上がらず、キロ単価は348円となった。村産業振興課では「樹勢は回復傾向にあるが、老木樹の回復力が未だ弱い。村単独事業での肥料の半額助成や老木樹の改植を継続して推進していきたい。」と語った。



# ペルセウス座流星群を追いかけて

## 夏のスターウォッチング

**奄**美少年自然の家主催のスターウォッチング in 大和村が8月12日（火）、思勝港湾緑地公園で行われ、村内の親子ら約60名が参加しました。

まず、プロジェクターを使って地球から遙か彼方の宇宙へ擬似旅行を体験。今居る大和村から上空を昇って地球を望み、太陽よりも大きな星や地球から遠い場所にある星をいくつもいくつも通り過ぎ、果てなく広い宇宙に想像を膨らませました。また、夏によく観察することができるペルセウス座流星群や夏の大三角などの星座についてレクチャー。実は夏期が流星群を一番観察しやすい時期であることや、星座は約5000年前の人々が夜空に絵を描いたことが始まりとされ、ギリシャ神話と結びついて各地へ広がり、現在88個ある星座は世界共通であることを学びました。いよいよ天体望遠鏡で実際に観察ですが、この日の天候はあいにくの曇り模様。雲間から夜空が顔を出すタイミ

ングをはかりながら、ペルセウス座流星群や土星を天体望遠鏡で観察しました。肉眼で見る星と望遠鏡で見る星はやはり別格。いつもは点にしか見えない星が明るくはっきり見ることができます。順番に望遠鏡を覗くと子ども達から「わぁー！すごい！」と歓声が上がりました。



# ポイ捨てのない大和村にしませんか？

## 大和村子ども議会開催

**将**来の大和村を担う子ども達に、行政や議会の仕組みを知ってもらおうと、7月30日、第2回大和村子ども議会が開催されました。村内の小学5、6年生の中から選ばれた8名の「議員」が日頃から感じている身の回りのことや大和村の将来について質問を行うもの。子ども達は議場の雰囲気には臆することなく堂々と意見を述べ行政への提案を行いました。

質問は「学校では窓を全開にしていますが、授業中にスズメバチなどの虫も入ってくるので授業に集中できません。全ての窓に網戸を付けてもらえないでしょうか」（森岡敬司さん・大和小6年）といった学校生活での切実な声から「大和村は素晴らしい自然があるのに、道路にはたばこの吸い殻や空き缶などゴミがあります。ゴミ一つない大和村を目指すために、村全体でボランティアのゴミ拾いの実施や、ポイ捨て禁止の

ポスターを貼ることはできないでしょうか」（出見楓さん・大和小6年）と大人のモラルに果敢に意見する場面もありました。子ども議会終了後には藤井俊郎教育長が「みなさん一人一人が意見を持つことは大切なことです。夢を持って自分に負けずにがんばってください。」と子どもたちを激励しました。



# いつまでも元気で健やかに。

## 村内の敬老者に敬老記念品を贈呈

**敬**老の日を前に、9月12日（金）に伊集院村長が各集落を訪れ村内の高齢者に敬老記念品と敬老年金の贈呈を行いました。

村内では高齢者の長寿を祝福することを目的として70歳以上の高齢者へ年齢に応じて敬老年金を支給しています。

思勝集落では伊集院村長が「先輩みなさんのお陰で今の和村があります。これからもみなさんが健康で、また安心して暮らせる村づくりに貢献していきます。お元気で充実した生活を送って下さい」とあいさつ。敬老者から代表で仲新城長章さんが敬老金を「ありがとうございます。うれしことです。」と受け取りました。

また、この日各集落公民館では、記念品贈呈に合わせ敬老会やカラオケ大会が開催されました。そしてスペシャルゲストとして、大和保育所の園児たちがお遊

戯が披露しました。「おじいちゃん、おばあちゃん長生きしんしょれよ〜！」と園児たちが手作りしたメダルが敬老者にプレゼントされると、みなさん目を細めてほほえんでいました。園児と共に健康と長寿を祝い、高齢者の笑い声が絶えない一日となりました。

皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。



# 夏の夜空に響くチジンとシマ唄

## 思勝集落・キトバレ踊り

**ア**ラセツ、シバサシ、ダウンガは島のミハチガツ（八月三節）と呼ばれ、奄美大島各地で八月踊りが行われます。以前は三日三晩かけて集落全戸を回ったと聞きますが、現在は公民館やトネヤ（集落の守り神を祀る家）など数カ所で踊るのが一般的です。

思勝集落（永野誠光区長・66世帯）では、人口の減少や生活スタイルの変化により八月踊りの存続が危ぶまれる時期がありましたが、青年団を中心に一念発起。伝統文化を継承しようと日夜練習を重ね「キトバレ踊り」と名付け八月踊りを復活させました。

今年は第34回を迎え、当日（9月13日）午後7時に青壮年団・婦人会がトネヤの玉井俊一さん宅に集合。集落の安全祈願をした後、玉井さん宅の庭先で「三足踏（あしなれ）」を踊りました。集落の各会場に移動した後も若者達は大きな声で唄を掛け合い、太鼓を打ち鳴らし、キトバレ（祈祷祓い）の願いを込めて踊

りました。また、今年は集落民はもとより村外、県外からも多くの参加者が集まり、地元住民はいつも以上に勢い込み、会場は終始大いに盛り上がりました。

伝統文化に限らず、他の地域からの刺激が良い起爆剤となり、シマの良さ見直す良い機会なのかもしれません。



# 奄美フォレストポリスで体験会

## 奄美大島生物多様性地域戦略策定運用協議会主催

**奄**美大島5市町村では、奄美大島の自然的・社会的条件に応じた生物多様性の保全と持続可能な利用を促進することを目的に平成25年度より「奄美大島生物多様性地域戦略（案）」を策定しています。この事業の一環として、8月20日（水）に小中学生の親子を対象に奄美フォレストポリスにおいて「奄美の自然 じっくり体験会」を開催しました。

講師に琉球大学 横田教授、東京大学医科学研究所 服部准教授らを迎え、村内外から21名の親子が参加。施設内に生育生息しているヒカゲヘゴなどの植物や夏期に発生しているトンボ類、オキナワキノボリトカゲなどのハ虫類を観察しました。参加者からは、「この植物はなんて言う名前ですか？」「オキナワキノボリトカゲのオスとメスはどこで見分けるの？」などの質問が飛び交いました。講師からは、フォレストポリスは奄美大島の中で唯一、奄美に生息するほとんどのト

ンボの種類を観察できる貴重な場所。しかし、ここにも奄美には元々いなかったアカギやアメリカハマグルマなどの外来の植物が生育しています。今後、この地域の特性を守っていくためにも外来種の駆除やこれ以上外来種を入れない取り組みが大切です。と結びました。村としても今後駆除作業を進める予定です。



# 繋げよう救命のリレー

## 救急車が来るまでに私たちにできる処置

**大**和村民生委員児童委員定例会が8月20日（水）に産業振興センターで開催され、各地区の状況報告のほか、大和消防分駐所の職員による応急手当の講習が開催されました。「誰もが、いつ・どこで、突然のケガや病気におそわれるかわかりません。もしものときに一人一人が冷静に的確な応急手当が行えるよう準備することが大切です。」と大和消防分駐所南雲主事より説明がありました。またトレーニングマネキンとAED（＝自動体外式除細動器）を用いて、救命処置の一連の流れを実演。民生委員と役場の若手職員も参加し、初めて扱うAEDに苦戦しながら実際に救命処置の方法を体験しました。

処置の流れは、①倒れている人の発見②応援を呼ぶ・119番通報・AEDの手配③呼吸の確認・気道確保④心肺蘇生（胸骨圧迫・人工呼吸）⑤AEDの実施⑥心

肺蘇生を救急車が到着するまで続けます。

村内でAEDが設置されている施設は役場・消防署・村体育館・各小学校・中学校・大和の園の9カ所です。

日頃からの健康管理ももちろんですが、万が一の場合に備え、みなさんのお住まいの近くのAEDが設置してある場所をぜひご確認ください。



# 新築住宅助成金・ 空き家改修助成金のお知らせ



「新築住宅改修助成金」と「空き家改修助成金」とともに第一号対象者の交付式が9月19日、村長室において行われました。

「新築住宅改修助成金」の対象者は元島敏昭さん（湯湾釜）、「空き家改修助成金」の対象者は福本建設（代表取締役 福本剛敏さん）で、お二人は「第一号でこのような制度を利用することができ、大変ありがたい。今後も大和村へ貢献していきたいと思います。また、村民の方々へこの制度の活用を呼びかけたい。」とコメント。また、福本建設からは、「隣接している大和の園のお役に立ててください。」とご寄付を頂戴しました。

新築や改修を考えている方は、総務企画課へ一度ご相談下さい。

## 〈空き家改修助成金〉

Uターン・Iターン者の受け入れを目的に、現在空き家となっている家を所有者が行う改修費用に対し、予算の範囲内で助成金を交付します。

### ●対象者

次のいずれにも該当する空き家所有者が対象となります。

- ①村内に存する空き家を改修した方
- ②改修した空き家に村外から転入があった場合  
※役場も入居者の斡旋に協力します。
- ③村民税等を滞納していない方

### ●助成金額

助成金の額は、助成対象工事に要する費用のうち30万円を上限に助成します。

### ●助成の対象となる工事

改修工事に要する費用が、以下の工事を除いた額が10万円以上であるものが対象となります。

- ①改修家屋に付属する地下埋設物等の撤去費用
- ②改修工事に伴う仮設工事費用のうち交通安全対策等に係る経費
- ③公共工事による移転、建て替えその他の補償の対象となっている建物の撤去費用

## 〈新築住宅助成制度〉

定住を促進し、地域活性化を図るため、村内において、床面積50平方メートル以上の住宅を新築された方に対し、1件あたり100万円を助成します。

※助成金の受給には要件等があります。

そろそろ新しいお家に・・・  
空き家を貸出そう・・・  
と思ったら、ご相談下さい。



# やまとそん女子旅実行委員大募集！



地域活性化と交流人口、人口の増加を目的として今年度より「やまとそん女子旅実行委員会」（以下、「実行委員会」）を立ち上げ、奄美大島外在住の女性限定の「やまとそん女子旅ツアー」を開催することとなりました。

そこで、ツアーに参加する女性のみなさんをおもてなしする「実行委員会」を有志で結成するため、そのメンバーを次のとおり募集します。ツアーの行程を考えたり、参加者との交流を通じて大和村の魅力を再確認し、地域興しに挑戦してみませんか。みなさまのご参加をお待ちしております。

### ■開催日

平成27年2月21日（土）～2月23日（月）

※一部日程のみの参加も可能です。

※来年度以降も開催予定です。

### ■募集資格

- ・村内在住の方・村内に通勤されている方
- ・20歳～45歳の男女

### ■その他

- ・ツアー開催前に、事前説明会等を開催します。

### ■申込み期限

なし

### ■申込み・問い合わせ先

大和村役場 総務企画課内 やまとそん女子旅実行委員会

TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161



# 保健推進員が委嘱されました！

	集落	氏名
1	国直	晨原 政代
2	国直	江崎 信子
3	湯湾釜	上原 寿代
4	湯湾釜	元田 イシ子
5	津名久	仁添 淳子
6	思勝	三田 富喜子
7	大和浜	重信 かほり
8	大和浜	吉田 のり子
9	大棚	藤村 栄子
10	大棚	大石 松美
11	大金久	河野 苞代
12	大金久	河野 みどり
13	戸円	馬屋原 悦子
14	戸円	坂元 りん子
15	名音	國副 ユキヨ
16	名音	松尾 キク
17	名音	重野 弘乃
18	今里	山田 逸美
19	今里	森山 博江



9月16日（火）に保健推進員委嘱状交付式が行われ、19名（左記のとおり）に伊集院村長から委嘱状を手渡されました。

保健推進員は、村民の健康管理に関する各種健康診断の受診推進や集落で開催される運動教室の普及啓発など、村民が健やかな生活が送れるよう支援します。

伊集院村長からは、「今年度より新たに設置された保健推進員制度ですが、今後皆様と行政、各種団体が連携し村民の架け橋となることと期待します。協働して子どもから老人まで元気に暮らせる大和村を目指しましょう。」と挨拶しました。





## 奄美マンブースバスターズより 捕獲作業へのご案内とご協力をお願い

10 年計画で全島からの根絶を目標とした「奄美大島におけるジャワマンブース防除事業」は、2013 年度から新たな計画がスタートし、宇検村、瀬戸内町（大島側）の全域にわなを設置しています。これまでマンブースは 32,000 頭以上が捕獲され、近年は捕獲頭数が減少し続けています。その結果、アマミノクロウサギやアマミトゲネズミ、ケナガネズミなどの希少な哺乳類の生息状況の回復が確認されています。また、昨年度のマンブース捕獲数は 130 頭で過去最低となり、マンブースの生息密度がさらに低下したものと考えられています。

奄美マンブースバスターズは、カゴわなや筒わなによる捕獲を行うとともに、マンブースの生息の有無を確認するためヘアトラップや自動撮影カメラによるモニタリング調査を実施しています（写真）。

※狩猟期間中、ご迷惑をおかけするかと思いますがご協力何卒宜しくお願いいたします。



カゴわな



筒わな



センサーカメラ



ヘアトラップ



マンブース探索犬は現在 9 頭で活動しています。

### 奄美マンブースバスターズの活動に関するお問い合わせ

- マンブースによる農作物被害や目撃情報があった場合
- 農作物被害対策としてのわな設置を希望する場合
- わなの設置場所についてのご相談
- その他、ご意見・ご要望等ございましたらご連絡下さい
- 一般財団法人自然環境研究センター奄美大島事務所  
奄美市名瀬浦上 1385-2 TEL：0997-58-4013
- 環境省 奄美野生生物保護センター  
大島郡大和村思勝字腰ノ畑 5 5 1 TEL：0997-55-8620

# 第 1 回 ジョギング大会 開催！



第 1 回ジョギング大会（主催大和村・大和村教育委員会）が 11 月 16 日に開催されました。本大会の前身は、第 30 回まで続いた集落対抗村内 1 周駅伝競走。人口の減少や少子化の影響により各チームとも選手選考に苦慮し、大会運営委員会で検討を重ねた結果、昨年をもって終了することになりました。伝統ある大会がなくなってしまうのは大変寂しいですが、ジョギング大会と私たちを変えたことにより、1 歳の子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の村民 121 名が参加し、スポーツの秋を楽しみました。コースは 2 キロ・4 キロ・10 キロの 3 つ設定され、それぞれの体力に合わせた距離にチャレンジ。全力で疾走する方や、コスチュームを身にまとうて走る方、子どもと手をつなぎ会話をしながら走る親子など、思い思いのペースでさわやかな汗を流しました。今大会注目選手の参加者最高齢・泉コズさん（83 歳・大和浜）も 4 キロコースを見事に完走され、余裕の笑顔でゴール。沿道で応援する方々から大きな拍手が湧きました。

ゴール地点では、各コースの男女 3 位入賞へ賞状と副賞を贈呈した他、テレビや航空チケットなど豪華景品が当たる抽選会も行われました。スポーツの秋を楽しみながら、健康や体力増進のために参加してみませんか。次回も多くの方々にご参加下さいますようお願いしております。

### コース別 記録一覧

2 キロ男子の部			2 キロ女子の部		
1 位	森田 祥太郎（大棚）	9 分 8 秒	1 位	武原 美希（津名久）	9 分 46 秒
2 位	白石 大晴（戸円）	9 分 34 秒	2 位	福山 祐美（津名久）	10 分 23 秒
3 位	森 聖也（今里）	9 分 43 秒	3 位	宮本 心満（津名久）	10 分 43 秒
4 キロ男子の部			4 キロ女子の部		
1 位	高島 洋（国直）	14 分 58 秒	1 位	水田 結子（思勝）	23 分 50 秒
2 位	白石 風歌（戸円）	16 分 57 秒	2 位	作井 由希乃（大金久）	27 分 17 秒
3 位	中田 匠（大棚）	17 分 18 秒	3 位	松尾 治子（思勝）	28 分 28 秒
10 キロ男子の部					
1 位	太 純一（大棚）	38 分 51 秒			
2 位	宮本 聖平（津名久）	39 分 58 秒			
3 位	森岡 豊史（今里）	45 分 11 秒			



全国へ出発進行!!

# 奄美ナンバースタート

全国離島初のご当地ナンバー「奄美」が平成26年11月17日から始まりました。

Q 手続きに必要なものは？

車検証・印鑑・運転免許証  
※所有者と使用者が異なる場合は、別途書類が必要です。

Q 申請料金は？

用紙代：普通自動車 30円  
軽自動車 100円  
ナンバー代：希望ナンバーなし 1,840円  
希望ナンバーあり 4,400円



Q どこで手続きできるの？

<普通車・オートバイで総排気量が126cc以上のもの>  
●鹿兒島運輸支局奄美自動車検査登録事務所  
電話：0997-52-0757

<軽自動車>  
●軽自動車検査協会鹿兒島事務所奄美分室  
電話：050-3816-1762

- ご誕生おめでとう
- 中山 絹子さん (中山一三・津名久)
  - 宮田 一輝さん (宮田衣津茂・今里)
  - 佐藤 心南さん (佐藤博行・思勝)
  - お悔やみ申し上げます
  - 伊村 正男 様 (70歳・大金久)
  - 納 忠久 様 (81歳・名音)
  - 畑山 和子 様 (56歳・大和浜)
  - 畑山 みつ子 様 (91歳・大和浜)
  - 葛本 スズキ 様 (81歳・戸巴)
  - 伊村 伊野満 様 (96歳・大金久)
  - 田河 實 様 (79歳・戸巴)
  - 仁島 トミ 様 (89歳・戸巴)
  - 永田 栄子 様 (42歳・大和浜)
  - 満島 ヤエ 様 (89歳・思勝)
  - 納 行友 様 (84歳・大柵)
  - 川畑 豊貞 様 (94歳・名音)
  - 香典返し (社会福祉協議会へ)
  - 中里 チズ子 様 (故中里利夫様)
  - 納 マサヨ 様 (故納忠久様)
  - 畑山 盛義 様 (故畑山和子様)
  - 宮田 フクエ 様 (故宮田賢種様)
  - 戸内 セツ 様 (故戸内行男様)
  - 藤井 俊郎 様 (故藤井和人様)
  - 伊村 光志 様 (故伊村伊野満様)
  - 田河 智美 様 (故田河實様)
  - 仁島 高栄 様 (故仁島トミ様)
  - 川畑 恒広 様 (故川畑豊貞様)
  - 納 キヨ 様 (故納行友様)
  - 永田 裕美 様 (故永田栄子様)

こせきの窓

人口	1,647人 (+1)
男	798人 (±0)
女	848人 (±0)
世帯	876戸 (+6)

9月1日現在 (前年同月比)

- ふるさと納税ありがとうございます
- 唐沢 安泰 様 (東京都)
  - 郁島 信介 様 (鹿屋市)
  - 石戸谷 浩毅 様 (東京都)
  - 石川 雅信 様 (神奈川県)
  - 川畑 裕子 様 (横浜市)
  - 福原 輝義 様 (さいたま市)
  - 寺師 一蔵 様 (愛知県)
  - 田川 ホズエ 様 (川崎市)
  - 小田 サエ 様 (千葉県)
  - 岡崎 昇 様 (島根県)
  - 満井 裕美子 様 (兵庫県)
  - 広報誌御礼ありがとうございます
  - 泉 富蔵 様 (神奈川県)
  - 久志 哲也 様 (徳之島町)
  - 川畑 和昭 様 (奄美市)
  - 武田 京治 様 (霧島市)

## 島の宝 満1歳おめでとう



勝 遥也さん  
保護者 勝 栄一朗・優芳さん (名音)

ピースできるもん！とカメラに向かっ  
てはいるチーズ。



森岡 ミコさん  
保護者 森岡 豊史・美沙子さん (今里)

4人兄弟、末っ子のお姫様。人懐っ  
こい性格と笑顔がすてき。



新納 晃大さん  
保護者 新納 晃幸・信子さん (大和浜)

公園での砂遊びが大好き！ユニー  
クな性格はパパゆずりかな？



上間 悠介さん  
保護者 上間 蔵生・美佳さん (思勝)

兄弟けんかで負けたくって全然平気。  
我慢強い末っ子です。



納 琉亜さん  
保護者 納 幸輝・葉月さん (名音)

お客さんが来ると笑顔でお出迎え。  
商店の看板娘です。



前泊 俊愛さん  
保護者 前泊勝利・多恵子さん (大和浜)

お兄ちゃんと遊ぶのが大好き！元  
気いっぱいの子男坊です。



関 琉煌さん  
保護者 関 伸哉・千春さん (名音)

今日のご飯はカレーと聞いて思わ  
ずにっこり。たくさん食べて大き  
くなられ！



重村 希和さん  
保護者 重村大剛・ゆきみさん (名音)

甘えん坊の女の子。お母さんの抱っ  
こに上機嫌です。

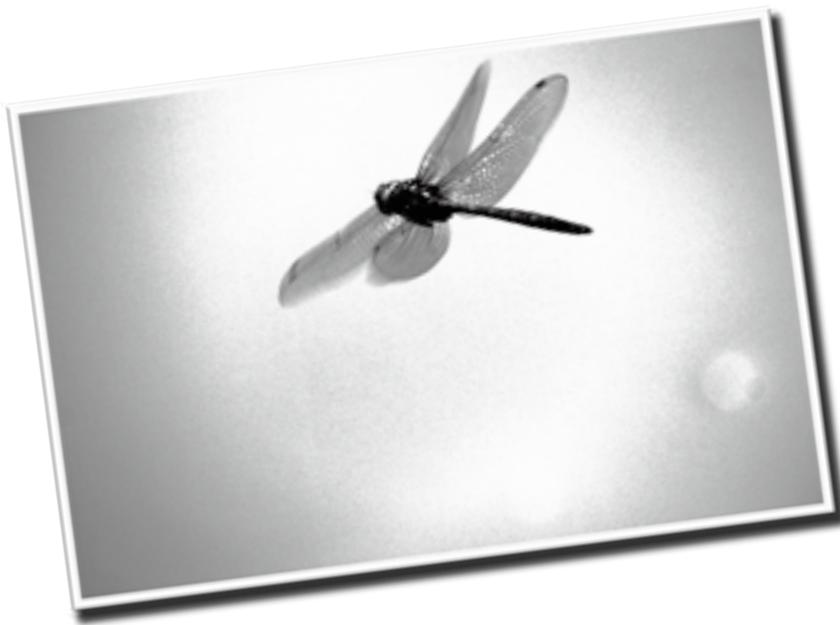
# わきや島ユムタ

## 第四回

子どもの頃は、どの集落にも田んぼがあった。夏休み中はちょうど稲刈りの時期で刈り取った稲を乾燥させるために、竹竿に一束ずつずらっと干しているのがいつもの夏休みの見慣れた光景であった。稲を刈り取られた田んぼは、水が抜かれ乾燥していることで、足を捕られることもなく自由に遊ぶことができた。そこが、「ヴェイツンバシ」の格好の舞台となっていた。

「ヴェイツンバシ」の「ヴェイ」とは「トンボ」のことで、「ツンバシ」とは「交尾をさせること」。トンボを交尾させて遊ぶことではなく、トンボの捕まえ方の一種である。

トンボの中でも特別に大きいギンヤンマ（方言名：コガネ）のオスは、あこがれの的だった。綺麗で貴緑があり、数も少なく、運良く発見しても手の届かない高いところを飛び続けているので捕まえられない。虫取り網なんかもちろん買ってもらえない時代なので、もっぱら竹ぼうきを振っていたが、上空を悠々と飛ぶギンヤンマを憧憬のまなざしでただ見つめるばかりであった。



そんな時、威力を発揮するギンヤンマの捕まえ方が「ヴェイツンバシ」である。それはまず、ギンヤンマのメスを捕まえることから始まる。メスは、オスと違い低いところを飛び、すぐに何かに止まる習性がある。その止まったところにそっと近づきほうきを上から押さえて捕まえ、メスのしっぽの付け根を糸で結び、自由に飛べるようにする。釣り竿の要領で、糸の先を適当な棒にくくりつけると道具の完成である。

メスを飛ばせると上空を舞っているオスが目ざとく発見し、交尾をするためにやってくる。しばらく頃合いを見て、糸を慎重にたぐり寄せ、ようやく憧れのオスを捕まえることができたのである。

数年前、集落の子ども会で米作り体験活動をした。田植え、稲刈り、脱穀、餅つきと一連の作業を行った。稲穂を干している時、「ヴェイツンバシ」を思い出すあの頃の懐かしい匂いがした。



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページ携帯サイトへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。(http://www.vill.yamato.lg.jp/i)

発行・編集 大和村役場総務企画課  
〒 894-3192 鹿児島県 大島郡大和村大和浜 100 番地  
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161  
mail:info@vill.yamato.lg.jp  
http://www.vill.yamato.lg.jp